

委員会機能の充実について

【所管事務調査の取組方針(協議結果)《案》】

1 第2次千葉市議会運営活性化推進協議会で決定された検証項目の継続実施

- 本協議会で効果検証を行うこととされていた、次の3項目について令和6年度以降も改善等を加えながら継続実施する。

- ① 各常任委員会において年間調査テーマの設置を必置
- ② 本会議において各常任委員長が年間調査テーマの報告と取組方針を所信表明
- ③ スケジュールガイドラインを参考に1年間の所管事務調査に係る活動計画を作成

2 年間調査テーマの事前意見募集と委員間討議によるテーマ選定・所信表明への反映

- 各委員が希望する年間調査テーマ等を記載した調査書を委員長あてに提出し、委員長主導のもとで委員間討議を用いながらテーマ選定を行う。
- 所信表明にあたっては、委員間討議での意見を盛り込みつつ、委員長の思いが伝わるよう実施する。

【事前意見募集の手法と年間調査テーマの選定方法(2ページ参照)】

- ① 第2回定例会開会前に、議会事務局から全議員に対して所管事務調査事項調査書を配付。
- ② 調査書は、各委員が希望する所管事務調査のテーマと、そのテーマに関する調査理由や本市の課題等について記載し、第2回定例会で行なわれる常任委員選任・正副委員長互選のための委員会開催時に、所属する委員長あてに提出。
- ③ 委員長あてに提出された調査書は、事務局にて記載事項を一覧表としてとりまとめ各委員に配付。
- ④ 年間調査テーマの選定について協議を行う委員会開催時には、一覧表を参照にしながら提案された各委員の意見を基に、委員間討議を用いて設定するテーマ選定を協議。
- ⑤ 年間調査テーマの決定は、各委員の意見を参照にしながら、委員長主導のもとで最終判断を行うものとする。

【所信表明】

- 所管事務調査は、委員長のリーダーシップのもとに行われるものであり、所信表明にあたっては、年間調査テーマ選定に係る委員間討議での意見を盛り込みつつ、委員長の年間調査テーマに対する姿勢や思いが十分に伝わるよう実施する。

年間調査テーマの事前意見募集のイメージ

第2回定例会開会前

第2回定例会会期中

調査書配付

※第2回定例会開会前に全議員に配付
※常任委員選任時に委員長あてに提出

令和 年 月 日
〇〇委員長様
委員氏名

所管事務調査事項調査書

1 所管事務調査事項(テーマ)
〇〇〇〇について

2 本市の課題及び調査理由
〇〇〇〇について〇〇〇〇〇の課題が生じており、〇〇〇するため〇〇〇について調査を行う。

議会事務局

常任委員選任・正副委員長互選

調査書の提出

※事務局にて一覧表を作成し各委員へ配付

総務委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

保健消防委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

環境経済委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

教育未来委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

都市建設委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

委員間討議によるテーマ選定

※一覧表を参照にして委員間討議
※所信表明に盛り込む内容も検討

総務委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

保健消防委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

環境経済委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

教育未来委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

都市建設委員会	
調査テーマ	調査理由等
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。
〇〇〇〇について	〇〇〇の調査を行う。

年間調査テーマ決定

所信表明

【参考】第2回定例会中の委員会等開催予定
※日数は土日を除く開庁日

開会日

3~4日程度

正副委員長互選

1~2日程度

委員会開催日

6日程度

閉会日

3 オンライン視察・専門的知見の活用

- 今後の所管事務調査においては、オンライン視察の充実や学識経験者の招聘による講演会の開催などを有効活用することで、年間調査テーマに関する知見を深めながら課題解決の手法を検討していく。

4 調査報告書のとりまとめ

- 調査報告書の作成にあたっては、所管ヒアリングを踏まえた本市の現状・課題、先進事例の視察や講師招聘などから得た課題解決策等について、委員間討議を十分に行いながら集約された意見を報告書へ掲載していく。

5 第3次千葉市議会運営活性化推進協議会の決定事項の所管事務調査スケジュールガイドラインへの反映

- 第2次千葉市議会運営活性化推進協議会で作成された所管事務調査スケジュールガイドラインを踏襲しつつ、本協議会で決定された新たな取組項目を追加する。(4ページ参照)。
- 年間調査テーマ決定後に作成する活動計画書には、可能な限りスケジュールガイドラインに沿った詳細な年間計画を作成する。(5ページ参照)。

6 取組方針の見直し等について

- 令和6年度以降の所管事務調査において、各取組項目を継続実施していきながら、今後も取組方針の内容に必要な見直しや改善を加えるとともに、より効果的な取り組みなどを積極的に取り入れ、所管事務調査の充実を図っていく。

所管事務調査スケジュールガイドライン(第3次千葉市議会運営活性化推進協議会の決定事項反映)

区分	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
定例会		2定			3定		4定			1定			
年間調査テーマ設定	調査書 事前配付	【年間調査テーマ設定(第2回定例会中)】 ①調査書を活用したテーマ設定に係る協議 ②テーマの決定 ③所信表明(閉会日の本会議で報告)											
活動計画作成			活動計画作成 (※1)										
調査の実施				所管からの現状と課題の聴取 市内行政視察(必要に応じて)			視察の考察		調査の総括				
行政視察						行政視察	視察報告書 作成						
講師等の招聘						講師等招聘 (※2)							
委員間討議の場面		テーマ選定	所信表明 の内容	調査テーマの 課題整理	視察項目の 検討		視察・講師講演等の 振返り			報告書の とりまとめ			
報告書作成 (議長報告・HP公開)		報告書作成 ※調査報告書は、調査活動ごとに協議概要や委員意見等を随時反映させ、年度末の「調査の総括」にてとりまとめ										報告書 (議長報告・HP公開)	

※活動計画の作成にあたっては、翌年3月までに実施する「調査の実施」・「行政視察」・「講師等の招聘」・「報告書作成」等の活動内容を可能な限り詳細に計画する。【活動計画書の作成例は5頁参照】

※講師等の招聘については、各委員会の判断で適切な時期に行う。

〇〇委員会 年間調査テーマ活動計画

1 年間調査テーマ

〇〇〇〇〇〇について

2 調査目的

〇〇〇〇〇〇については、〇〇〇〇〇〇の状況にあり、本市においても喫緊の課題となっている。このため、本委員会では、〇〇〇〇〇〇の取組みを推進していくための調査を行う。

3 活動計画

月	活動内容
8月	<ul style="list-style-type: none"> ● 所管局からの説明聴取 ● 現状把握と課題整理(委員間討議)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ● 視察項目の事前整理(委員間討議) ● 外部講師の選定
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 県外視察
11月	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間調査テーマに関する外部講師講演
12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 県外視察・講師講演等の振りかえり(委員間討議)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン視察の実施(〇〇〇市) ● 調査報告書の素案作成
2月	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査の総括及び調査報告書のとりまとめ(委員間討議)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査報告書の確定